

新しい風

No. 122

2021.9.15

Take Free

北区が誇る中小企業のきらりと光るものづくり技術



令和2年度

北区きらりと光るものづくり顕彰 受賞者に聞く



北区きらりと光るものづくり顕彰事業は、区内の優れた企業活動・技能・技術などを顕彰し、北区の「ものづくり」のすばらしさを広く内外にPRすることを目的として、平成22年度から始まりました。

令和2年度は、企業部門4社、技人部門1名が受賞しました。

受賞された皆さんからこれまでの苦労話や開発秘話のコメントをいただきました。

[きらめき企業部門]

有限会社 岩井精機製作所 (帯鉄引締機製造・金属部品加工)

浮間1-7-3 <http://iwai-seiki.co.jp/>



複合旋盤



帯鉄引締機



代表取締役
岩井 大輔氏

『帯は梱包の要なり。』

輸送用の木箱や段ボール箱の移動性や強度を得るために、箱にビニール等の帯を巻き付けます。その巻き付けた帯のたるみをなくすために帯を引き締めます。その帯を引き締める際に利用する機械が当社の製造している「帯鉄引締機」です。

会社設立から60年以上。「帯鉄引締機」の生産・製造をしてきた「伝統」やそこで培われた「技術」を大切にしながら、新たな事業環境への適合を考えて行きたいと考えています。

[きらめき企業部門]

興亜紙業株式会社 (段ボール製品製造)

赤羽北1-16-3 <http://www.koa-sigyo.co.jp/kankyout.html>



昭和21年に現在の地に移転し、経営理念に掲げている「信頼」「継続」「調和」を旨として真っ直ぐ、一步一步着実に進んで参りました。

周囲の環境は創業時と大きく変わり、マンション等に囲まれた中で地域の一員として共存に努めながら工場運営しております。

段ボール製商品も展開するようになって、特に避難所向け備蓄用の段ボール製簡易ベッドの企画開発に力を注ぎました。コンパクト、軽量、組立短時間かつ強度申し分ない段ボール製ベッドの企画・開発に取り組み、箱形から組仕切りタイプにすることで大幅に段ボールの使用量を減らしかつ耐圧縮強度の高い段ボールベッドの土台が完成しました。天板、プライベート空間確保の間仕切りを付け、更にその段ボール部材を収納している箱と組立てたベッドを連結して睡眠時、ブラインドになるように工夫した結果、当初の目標であるコンパクトで軽量(約9.6kg)かつ丈夫さ(耐荷重2500kg)をクリアしました。設計には当社の従業員はもとより、同業者、抜型メーカー様からもアイデアを出して頂いた御協力もあって完成したもので大変感謝しております。



代表取締役社長
平岡 利章氏

『普段使いから災害時まで』



※北区と「災害時における段ボール製品等の調達業務に関する協定書」を結んでいます。

[きらめき企業部門]

株式会社 テイ製作所 (抜型、紙製什器等製造)

浮間2-17-17 サクラビル <https://www.teiseisaku.co.jp/>



『世の中の変化を捉える』

コロナ禍で本業の抜型製造、お菓子の箱やディスプレイなどの仕事が激減した中で、ピンチをチャンスに捉え、社員が自社の強みを活かして、明日の飯に一生懸命取り組んでくれました。そのお陰で、コロナ対策パーティーなど世の中に必要とされる商品を開発し、販売することが出来ました。トライしたからこそ出来る事と出来ない事が見えたと思います。この賞は社員の努力の結果です。

今後は、本業の強みを活かしながら、世の中の変化についていけるよう100年企業よりも100回変わる企業を目指していきたいと思っています。



型抜作業



代表取締役
田中 和江氏



Baglike4種

[きらめき企業部門]

都ステンレス工業株式会社 (溶接製缶加工品製造)

浮間4-21-5 <https://www.miyakost.co.jp/>



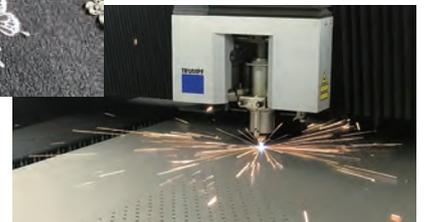
『豊かな経験に基づく確かな技術』

代表取締役 小森谷 真一氏

ステンレスを中心に切断サービスや製缶板金加工を行っています。レーザー切断機についてはステンレス流通業界で最初に無酸化切断加工を開始し、特殊合金メーカーとの直接取引を実現しました。特殊合金は非常に高価であり、切断機メーカーには加工データがないため、弊社にて実際に加工して条件を割り出す必要があり、トライ&エラーを繰り返して独自の加工技術を構築してきました。この経験値により一般的な業者では対応できない事案についての対応が可能となりました。今後は加工技術を更に高めて医療分野などへの参入を目指しています。



ステンレス立体切絵 (試作品)



製作作業

[きらめきの技人部門]

株式会社 渡辺工業所 渡辺 欣信 (金属部品加工)

栄町10-13 <http://www.watanabe-kougyouso.co.jp/>



『町工場と地ビール屋さんの かし 加締め大作戦』

切削加工を中心とした金属加工技術できらめきの技人に選ばれました。

様々なご注文にお答えします。

一例として、去年の秋ごろ、北区の地ビール屋さんから、アルミ缶の蓋用に10万円ほどのアメリカ製の加締め機を購入したが、US缶しか加締められないと相談を受け、日本製のアタッチメントに替えば使用できるのではと、図面もない状態で、地ビール屋さんと私で試行錯誤しながら、何とか作りだしました。



代表取締役
渡辺 欣信氏



材料は64チタン合金丸棒から加工しました。1mmと0.5mm

肉厚 0.5mm
重さ 8.5g
50D×27.5L

肉厚 1mm 17g

半球

材料
64チタン合金丸棒



北区の地ビール屋
さんとコラボ
これが製作した
アタッチメント

注：金属の板と板を繋ぎ合わせる工法を加締めと言います。

北区ものづくり企業支援サイト

<https://www.city.kita.tokyo.jp/sangyoshinko/sangyo/chushokigyo/monozukuri/shien/index.html>



ワクワク系の店づくり実践講座開催



待ちに待った第1回ワクワク系の店づくり実践講座を7月8日(木)に開催し、約40名の方にご参加いただきました。

ワクワク系の店づくり実践講座とは・・・

個店の売上アップを図るために“動機づけ”や“絆づくり”といったワクワク系の経営手法を学び、実際に店舗で実践し、フィードバックを行う全5回の連続講座です。北区内で店舗・会社等を経営している方、またはお勤めの方が対象です。

ワクワク系の経営手法は、業種・規模を問わず全国のお店で取り入れられており、1万件以上の成果事例が生み出されています。

令和3年度 北区新製品・新技術開発支援事業の助成対象事業が決定しました

新規市場開拓等に向けて新製品や新技術を開発する場合に、その研究開発に要する経費の一部を助成します。

今年度は、新型コロナウイルス対策となる新製品・新技術を対象とした助成枠を新たに設け、計4件の採択となりました。助成金額は、助成対象経費の4分の3以内、最大300万円です。

開発テーマ	事業者名
【コロナ対策枠】 新型コロナの家庭内感染増大をくい止めるための『飛沫防止フィルタースタンド』	株式会社エヌ・アイ・ピー
【コロナ対策枠】 バスのLED行先表示器の技術を基とする二酸化炭素濃度測定器の開発	株式会社オージ
ノンフロン型 超硬質銀めっきの導入と光沢剤(レベラー)の自社改良開発ならびにNiフリーとAu皮膜低減を可能にする金属表面処理皮膜の実現	常木鍍金工業株式会社
微生物製剤による下水汚泥と脱水ケーキの消臭分解、ならびに建材、堆肥化へのリサイクル資材化に向けたシステム装置の開発	株式会社テイト微研

「渋沢×北区 青天を衝け 大河ドラマ館」 期間限定(令和3年12月26日(日)まで)開館中 & 「渋沢×北区 飛鳥山おみやげ館」

渋沢翁のテーマパーク王子飛鳥山に2021年12月26日までの期間限定で、「渋沢×北区 青天を衝け 大河ドラマ館」が開館中です。

7月に大規模リニューアルを実施。パリ万博編の衣装や小道具、パリ万博日本ブースのセットの再現などを見ることができます。今後も随時展示を入れ替えてまいりますので、1度お越しになった方もぜひ足をお運びください。(定員制。大河ドラマ館ホームページより事前予約可。)

また、「渋沢×北区 飛鳥山おみやげ館」では渋沢グッズを多数取り揃えています。新商品も続々登場しています。

大河ドラマ館ホームページ：<https://taiga-shibusawa.tokyo/>



飛鳥山おみやげ館ホームページ：<http://shibusawakitaku.tokyo/omiyage/>



東京都立産業技術研究センター設立100周年



府立東京商工奨励館外観

1921年(大正10年)渋沢栄一翁らの尽力により、府立東京商工奨励館として工業試験部、商品陳列部、調査部の3部門と庶務部で業務を始めて以来100年。

目まぐるしく技術革新の起こる現代社会において、「変わる産業 変わらない使命」というコンセプトのもと、次の100年へ向け、志を新たに頼りになる都産技研を目指します。



東京都立産業技術研究センター旧本部
(2011年に北区西が丘から移転)

特設サイト：<https://www.iri-tokyo.jp/site/100years/>



(地独) 東京都立産業技術研究センター(都産技研)

〒135-0064 東京都江東区青海2-4-10 Tel: 03-5530-2111(代表) Fax: 03-5530-2765

* 都産技研は、都内中小企業への技術的な支援を行うことにより都内中小企業の振興を図り、都民生活の向上に寄与することを目的として、東京都により設立された公設試験研究機関です。



City of Kita

発行：北区地域振興部産業振興課

〒114-8503 北区王子1-11-1 北とびあ11階 TEL: 03(5390)1234 FAX: 03(5390)1141 <http://www.city.kita.tokyo.jp/>

No.122 令和3年9月15日号(年4回発行 6月/9月/12月/3月) 刊行物登録番号: 3-2-014